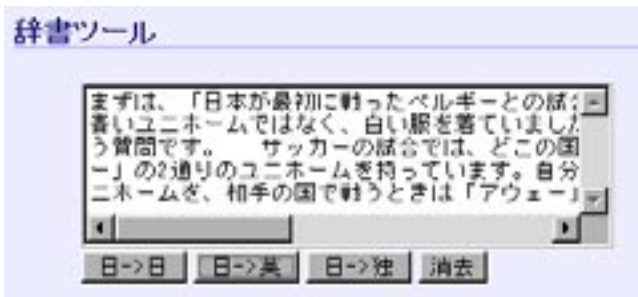


授業に役立つホームページ

第3回 リーディングチュウ太

今回は、日本語読解学習支援システム「リーディングチュウ太」(http://language.tiu.ac.jp/)を紹介し、このサイトでは、「工具箱(辞書ツール/レベル判定ツール)」「読解教材バンク」「リンク集」など、学習者や教師のための便利な道具がセットになっています。

かります。これを使えば、インターネットの文や、自分がワープロで作った文が、どのくらい難しいか調べることができます。



まず「工具箱」という項目の中にある「辞書ツール」を使ってみましょう。単語の意味や読み方がわからないとき、辞書ツールのテキストボックスに、読んでいる文をコピー&ペーストします。そして、その下にあるボタンを一つ選んでクリックします。すると、下の例のような辞書付きのページが出てきます(下の例では、「日英」のボタンを押しました)。



このツールは、教師が教材の難しいことばだけに説明をつけたり、学生のレベルに合った語彙リストを作ったり、語彙をコントロールした簡単な日本語で文章を書いたりするなど、いろいろなときに役に立ちます。



「入力された文章」の中で意味のわからない単語をクリックすると、右側の辞書リストの一番上に、その単語の説明が出るようになっていきます。読み終わった後で「あなたの単語リスト」を見ると、自分がどの単語を調べたかわかります。

「読解教材バンク」には、あらかじめ辞書ツールを使ってことばの説明をつけた読解教材がたくさん用意されています。いろいろなレベルの教材があるので、インターネットから自分で苦労して文章を探さなくても、すぐに自分にあったレベルの読解練習ができます。

最後に、「リンク集」では日本語、日本文化、日本語教育についてのとくに役に立つページが選ばれています。学習者はこの中から興味のあるページを選んで、辞書ツールを使いながら読むことができますし、教師が自分のクラスで使う文を探すのにも便利です。また、「チュウ太」以外の役に立つ道具へのリンクもあります。

次に、「工具箱」の「レベル判定ツール」は、文中の語彙や漢字が日本語能力試験の何級のものかわ

かのように、「リーディングチュウ太」は教師や学習者をいろいろな形で助けてくれるサイトです。なお、「チュウ太」を使って日本語を教える具体的な方法が、「ウィーン日記」というコーナーにいろいろ書かれています。ぜひ読んでみるとよいでしょう。